

新春のごあいさつ

NPO 法人 おいた子ども支援ネット
事務局長 矢野茂生

みなさま。

「あけましておめでとうございます」
「寒中お見舞い申し上げます」

おいた子ども支援ネットで事務局長ならびに運営責任者を務めさせていただいております^の矢野と申します。毎日の慌ただしさに、「にじいろハート第3号」の発刊が遅くなりましたこと、紙面をお借りしてお詫び申し上げます。

早いもので、「あっ！」という間に2016年。創業以来、関係機関および関係の皆さま、会員の皆さま、地域の方々、そして子どもたちに支えられながら新しい年を迎えることができました。

昨年を振り返りますと、3名の入居者とともにスタートした「自立援助ホームみらい」。毎朝のお弁当づくり、毎日の食事づくりに獅子奮迅の男性職員。今では大親友だった「クックパッド」ともちょっと距離ができました。子どもたちの毎日に真摯に向き合いながら—たくさんの研修を重ね、いろいろな毎日を繰り返しながら—子どもたちの成長に一喜一憂の日々を送っています。子どもたちは—ついに正社員の座をつかめた仲間、正社員まであと少し—と頑張る仲間、高校生活が安定しはじめた仲間、夏の緊急保護で出会えた仲間、退居したけど自分なりにがんばっている仲間等々、それぞれがそれぞれの速度を大切にしながら—歩ずつ成長している様子を感じます。

「放課後等デイサービスなないろ」。いろいろな発達の特徴を抱える子どもたちが、地域周辺の小学校から来てくれています。女性職員を中心に大学生のアルバイトやボランティアスタッフが「暴れん坊将軍」や「意地っ張り

さん」「お姫様」「癒しの笑顔をもつ子ども」等々、そんな子どもたちと、毎日楽しく（たまに身体張って）放課後の活動を送っています。

そのような「子ども支援」の現場から強く感じるがあります。それは「関係性＝コミュニケーション＝つながり」の課題です。

現代社会は超少子高齢化社会。核家族化が進行し、地域社会の在り方も大きく変化しています。私が子どもの頃何かあると、近所のいろんな大人が登場し、遊んでくれたり、叱ってくれたり…。しかし、いつの間にか「孤立」や「貧困」、「格差」などの言葉が目立つようになりました。なんというか、今の日本には「余裕」がないのかな？とも感じます。そのような社会の課題は、確実に「子どもの課題」につながっているのではないのでしょうか。

「人と人がつながること」
「集団と集団が手をつなぐこと」
「組織と組織が連携すること」

それは当法人の理念にうたわれている「すべての子どもたちに明るい未来を！」を大切にするために、まさしく「ど真ん中直球！」と考えています。

そのように考えますと、当法人を設立できたことの「価値」や「やりがい」をあらためて感じます。今後も地域や関係者、関係機関の皆様方としっかりとスクラムを組み、手をつなぎあいながら運営していけるよう、努力していきます。

今後とも皆様方のご理解ご支援のほどよろしく願い申し上げます。



「みらい」近況報告

3名の子どもたちとスタートした自立援助ホーム「みらい」。現在は、4月当初からのメンバーD君とT君、そして、昨年12月に入居したS君の3名で生活しています。

毎日、仕事にそして高校に頑張っています。朝は、早い人で、6時過ぎには仕事へ向かいます。帰着時間もまちまちで、みんなそろっての夕食を囲むのは日曜日ぐらいです。



ですから、食事をしながらの子どもたちとの会話は、大切な時間となります。仕事の様子や学校での出来事、愚痴や悩み、友人や彼女とのエピソードなど、子どもたちが日ごろ経験している様々なことを聞くことができます。

自立援助ホーム「みらい」では、互いの信頼関係を大切に、「人」と「自分」とを思いやることが大事であると考えています。子どもたち同士、そして職員と子どもたちの信頼関係は、こうした日常のふれあいから育まれていくものだと思っています。

時には、失敗して周りに迷惑をかけてしまうこともあります。そんな時でも、何が間違っていたのか、これからどうするべきかを、職員と一緒に考えて、少しずつ自立への階段を上っています。

これからも食卓を囲みながら互いの信頼関係を築き上げていきたいものです。



この日のメニュー

- クリームパスタ・フランスパン
- サラダ
- 大根の煮物（なぜ？それは大根いただいたから）

【 D 君 】 左官の仕事を真面目にこなし、8月には正規社員となりました。

県内各地の現場を飛び回っています。また、週一回左官の資格取得に向け、「ものづくりカレッジ」へも通っています。そして、1月からは自動車学校へも通い始めました。仕事を終えたのち、2時間程度教習をうけてホームへ戻る生活が続きますが、3月末の取得を目指して頑張っています。運転免許が取得できれば、仕事の幅も広がり、自立に向けた大きな一歩となることを願っています。



【 T 君 】 11月から私立高校への転入学をはたし、新たな生活がスタートしました。

学期途中から新たな学校へ通うことになり、はじめは緊張していましたが、ゆったりとしたクラスの雰囲気や優しく接して下さる先生方のおかげで、スムーズに馴染むことができました。片道1時間かけての電車通学も遅刻することなく、楽しそうに通ってくれています。また、新生活のスタートを機に、金銭管理を身に着けるため、小遣い帳の記録も始めました。計画的



なお金の使い方ができれば、また一歩成長してくれることでしょう。

がんばれ！T君！

【 S 君 】

<12月からのニューフェイス>

児童福祉施設から12月1日に入居しました。先に入居しているD君やS君とは以前からの顔見知りだったので、すんなりと「みらい」の一員となりました。S君は現在介護施設の職員として働いています。17歳ですが、ラグビーで鍛えた体力と持ち前の優しさで、職場の方々から可愛がられているようです。今は準社員という立場ですが、いずれは正規社員として採用され、介護職の資格も取得できるようにと頑張っています。



「なないろ」近況報告

放課後等デイサービス「なないろ」は現在14名の児童が利用しています。小学1年生から上は5年生までそれぞれに個性ある子どもたちです。

到着した子どもたちはまず宿題に取りかかります。低学年と高学年にわかれ、女性職員やボランティアの大学生スタッフと、楽しく勉強しています。

宿題のあとは、工作をしたりゲームを楽しんだり、鬼ごっこやボール投げに興じたり。時には近くの公園へ出かけて思いっきり走り回ったりとなどなど。



「なないろ」では、子どもたちが楽しく学び、遊べるように、様々な行事や活動を充実させようと、職員と学生スタッフが企画を練っています。



そのいくつかを紹介します。

「クリスマス会」

12月26日、「なないろ」のクリスマス会が行なわれました。この日は、子どもたちの保護者やお姉さんや弟さん、妹さんなども参加して頂きました。

まずは、合唱やピアノ、ハンドベルの演奏、そして、男子3人組によるボイスパーカッションなどが披露されました。

この日のために練習を重ねてきた子どもたちは沢山の拍手を浴びて少し照れていました。子どもたちの発表のあとは、参加者みんなでパンケーキのデコレーショ

ンに挑戦。それぞれが工夫を凝らしたクリスマスケーキが完成！！みんなでおいしく食べました！



さらにサンタクロースも登場して楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

「もちつき大会」

12月28日 初めての餅つき大会が行われました。餅をついたり、丸めたり、子どもたちは初めての経験でしたが、みんな楽しく取り組んでくれました。

お父さんやお母さん、そしてお祖母ちゃん方も協力していただき、たくさんのお餅を作ることが出来ました。

最後はみんなでつきたてのお餅をいただき、子どもたちだけでなく、保護者や職員にとっても楽しい活動となりました。



「プチ社会見学」

1月9日 七瀬の高瀬石仏を見学に行きました(^^)

きっかけは、なないろの5年生Aちゃんが、冬休みに高瀬石仏の由来をインターネットで調べてまとめて来てくれたことでした。

Aちゃんのおかげで、身近にある歴史や文化に触れる時間となりました(^^)



「みらい」の子どもたち、「なないろ」の子どもたち。どちらもそれぞれ頑張ってくれています。



ほんの少しの時間でも、子どもたちの「居場所」になることができるよう、これからも頑張っていきます。



ご紹介！～ ぜひご覧ください！ ～

実は当法人には「サイバー部隊」(TEAMCYBER)という特殊部隊が存在します。今や情報発信には欠かせない「HP (ホームページ)」や「facebook (フェイスブック)」などの管理を行う、コンピュータやインターネットに精通した特殊部隊です。当法人の活動の様子や、情報を適時更新中！お時間ある時に、パソコンや携帯から Yahoo!や Google の検索エンジンで「おおいた子ども支援ネット」と入力し、検索！あれこれ掲載しています。お時間ある時に。よろしくお願いいたします。ご紹介です。

～スマホでできる社会貢献「gooddo」(グッドドゥ)のご案内とお願い～

すごい時代になりました。全国の NPO や NGO などの社会貢献団体に携帯やパソコンから＜応援する＞をクリックするだけで、そのポイントに応じた寄付金がいただけるーその名も「gooddo」(良いことをする)当法人も登録することができました！「1日1回クリック」。お金等は一切かかりません。ご協力ください！

【方法】

○おおいた子ども支援ネット HP の右側に gooddo の広告あります。(右画像参照)



この広告をクリックして **応援する！** を再度クリック。よろしくお願いいたします。

～編集後記～

【おおいた子ども支援ネット事務局より】

○皆様方のご理解、ご支援のおかげさまで、初めての年越しをすることができました。餅つきをすれば、餅つき初心者の私たちに、なないろ利用児童の保護者が道具を貸してくれる、ご参加いただきお手伝いくださる...。地域の方はおせんべいや果物を届けてくださる。児童福祉の関係者からはクリスマスケーキやお菓子などをいただく...等々、本当に感じるのですが、「人」が「人」を支援することの温かさ。紙面を借りて深謝申し上げます。「ありがとうございます」。

○当法人に絶大なる協力をしてくださる弁護士軍団、および理事役員の方々。医療の立場から、大学の立場から、行政的な見方から。子どもたちもたくさんの方々に見守られていることに安心感を抱いています。思うのですが、それぞれ「専門職」(プロ)と言われる人たち。その専門性が「子ども」を中心に領域を超えた連携ができる。子ども支援の大きな可能性を感じる1年でした。これからも「スクラム連携！」。

○いろいろな場所で、いろいろな形で「子どもや家族」「困難を抱えている人」のために動いていらっしゃる方々と多く出会った1年でした。そのたびに感動！と感謝！あらためて勇気や元気をいただいています。子どもシェルターの全国組織(子どもシェルター全国ネットワーク)も立ち上がりました。そのような中で感じるのですが、共通するもの。そのひとつに、大分の偉人、福沢諭吉が言った「相互扶助」(お互いに助け合うこと)の理念。今の生命保険業界の根底に流れる理念でもあるそうです。「あたりまえのこと」かもしれませんが、近年何かと急いでいる日本社会にとって見直しが必要かも知れませんね。

* ご質問・ご意見等あれば電話もしくはメールにてお尋ねください。

おおいた子ども支援ネット事務局 TEL : (097)507-5417 mail : oita-kodomosien777@oct-net.ne.jp